

【所属名：教育委員会事務局こども教育課】

【会議名：第2回いじめ防止連絡協議会】

## 会 議 録

作成日 令和5年11月17日

日	令和5年11月15日	時間	14:30～16:00	場所	糸魚川市民図書館
件名	報 告 ・ 令和5年度いじめ・不登校の状況（令和5年4月1日～10月31日） ・ 糸魚川市いじめ防止基本方針（案）及びいじめの防止等の行動計画（案）について ・ 各団体からの情報提供				
出席者	【委員】8名（下記団体より1名） 糸魚川警察署、新潟地方法務局糸魚川支局、人権擁護委員協議会、主任児童委員、糸魚川市PTA連絡協議会（欠席）、高等学校、市校長会、市教育研究会生徒指導部 【教育委員会】 鶴本教育長 【事務局】 磯野教育次長（欠席）、こども教育課：古川課長、小川参事、植木係長、山下副参事				
	傍聴者定員		一人	傍聴者数	0人

### 会議要旨

進行：小川参事

#### 1 開会のあいさつ（教育長）

- ・「2 報告」の中でいじめ・不登校の状況について報告させていただく。9月の校長会に参加し、各校の取組について、改めて点検することを確認した。初期対応、支援体制、不登校児童生徒の学びの場を確保することの3点である。学校現場の声を聞き、関係機関が連携し、いじめ・不登校対応の施策を進めていきたい。
- ・いじめ基本方針といじめの防止等の行動計画は、現在パブリックコメントを実施し、見直しや検討を進めているところである。改めてご意見をいただきたい。

#### 2 報告

##### （1）令和5年度いじめ・不登校の状況（令和5年4月1日～10月31日）

資料P. 2～P. 5のとおり

<質疑・意見>

（主任児童委員）

- ・不登校への対応としては、学習保障の場などの環境づくりが大切である。仮に、不登校児童生徒が、学校に戻ることを前提にすると、フリースクールやひすいルームの取組は現状のままでよいのか。学校に戻った後、学校の対応と差があると子どもは戻りづらいのではないか。

（事務局）

- ・ひすいルームの設置要綱の目的に「学校復帰」と明記されている。しかし、学校復帰は、最終目的でなくてよいと考える。学校以外の居場所づくりを早急に進めたい。

(主任児童委員)

- ・地域の中には、かつて不登校だった子どもが成長して、立派な大人になっている。子どもには成長のタイミングがある。一人一人の成長を把握し、フリースクールやひすいルーム等の環境づくりをしていただきたい。

(人権擁護委員)

- ・ひすいルームの立ち上げにかかわった。当時は学校に戻すことが目的であった。しかし現在は不登校への考え方や状況等が変わっており、学校の対応も大変になっている。
- ・いじめについては、SNSのトラブルなど内容が多岐にわたっている。昔と今ではいじめの内容は変化しているのか。

(事務局)

- ・昔も今も、学校の中で起きているいじめは本質的に変わらない。違っていることは、現在は小さなトラブルでも報告を上げ、丁寧に対応している点である。

## (2) 糸魚川市いじめ防止基本方針及びいじめの防止等の行動計画(案)について(ダイジェスト版を含む)

別冊資料のとおり

<質疑・意見>

(人権擁護委員)

- ・ダイジェスト版は斬新でよい。

(市教研生徒指導部会)

- ・ダイジェスト版は随所に工夫が見られる。各校でもこれを基に児童生徒に指導ができる。

(事務局)

- ・ダイジェスト版のイラストは、フリー素材からのイラストを利用し、視覚に訴える工夫をした。

(主任児童委員)

- ・各学校のいじめ防止基本方針は、学校によって内容に差があるのか。

(事務局)

- ・各学校では、いじめの防止等の行動計画をもとに、児童生徒の実態に合わせ、学校いじめ防止基本方針を作成する。内容によっては違う部分が生じるが、事務局で点検を行う。

## (3) 各団体からの情報提供(非公開)

### 3 閉会の挨拶(古川課長)

- ・貴重なご意見、情報提供に感謝する。いじめ不登校については最重要課題として考えている。不登校児童生徒の学習保障の場については、検討委員会を立ち上げ、多様な学びの場の提供について検討していくとともに、現存のシステムがより機能するように努めていく。